

あいあいあい

I eye 愛

2023年
4月号



大豆などの原料を徹底管理



醤油の素である「もろみ」を熟成させるタンク
(遠田郡美里町の鎌田醤油株式会社工場内)

原材料表示の向こう側にあるもの

理事 石川 佳名子

2023年4月から遺伝子組み換え作物の表示制度が変わり、遺伝子組み換え作物の混入が一切ない事を証明できなければ「遺伝子組み換えでない」という表示ができなくなります。これまで「5%以下の意図せぬ混入は除外」とされていましたが、今後は混入がゼロである事の証明ができなければ「遺伝子組み換えでない」と表示できなくなるのです。

一見、消費者を守るためルールが厳格になったようにも見えますが、生産者が「遺伝子組み換えでない」と言い切ることを目指し作った商品なのか、遺伝子組み換え食品であっても構わないと思っ作った商品なのかを、消費者が区別しづらくなります。「遺伝子組み換えでない」と表示するには、検査による証明が求められますが、大豆など一部の原料以外は検査方法すら確立していません。

昨年8月、太白地区委員会では美里町にある鎌田醤油を訪れ、工場を見学させて頂きました。江戸時代の建物に改造を加

えながら使用しているという歴史ある作業所で、原料選びから発酵・熟成と丁寧な手間を惜しまず味噌・醤油を製造している様子が印象的でした。あいコープのPB「あいシテル」の味噌・醤油は、宮城県産の原料を使用し、微生物の力を最大限に生かして出来上がります。「原料保管庫から製造現場まで、自信を持って組合員さんに見せられる」と鎌田醤油の鎌田雅敬専務がおっしゃっていました。作り手と食べる人の顔の見える関係がそこにあり、信頼もより一層深くなりました。原料や製造方法が明らかで信頼できる生産者を選び買い支える事は、遺伝子組み換え食品を拒否することであり、商品と原料の生産者を守ると共に、自分や家族の健康を守る事にも繋がります。

あいコープは、以前から遺伝子組み換えにNO!を掲げ、活動が続けられました。国の姿勢はすぐには変わりませんが、あきらめずに粘り強く「遺伝子組み換え作物はいらない！」と働きかけを続けて行きましょう。

CONTENTS

- ▶新連載「石けん運動そもそもばなし」...2
- ▶2022年度 組合員交流会報告...4-5
- ▶石けんモニターを募集しました...7
- ▶「子どもに原発事故を伝える会」報告...3
- ▶新！あいシテルのマヨネーズ...6
- ▶生産者さんにあいに行こう「丹野商店」の巻...8

石けん運動 そもそも ばなし

連載第1回

『使うなら石けんを』を合言葉に、あいコープは設立当初から石けん運動を進めてきました。——石けん運動とは何でしょう？「汚れがよく落ちて便利だから石けんを使いましょう」というオススメ活動でしょうか？

合成洗剤ではなく、石けんを選ぶということ。それは私たちが生かされている地球を守る選択をしたということ。自らの行動で「誰か」や「何か」を苦しめたり虐げたりするのを、拒否するということ。

数多の社会問題の解決に通じるこの「選択」を、石けんを通して表現する仲間を増やすのが石けん運動です。

1970年代の琵琶湖の赤潮に代表される、化学物質による環境汚染に端を発し始まった石けん運動。ひとりではゴールが遠すぎるからみんなで進む、その輪を広げる。活動を担ってきた諸先輩のメッセージから、生協の運動の歴史を紐解きます。



石けん運動Ⅱ生協運動

吉武 洋子さん
(元あいコープみやぎ理事長)

石けん運動は「石けんを使う運動」ではない事は、運動に携わる人にとって自明です。石けんという身近なものから水環境自然環境を考え、ひいては社会の在り方まで考える、まさに生協運動そのものです。

いわば引き売りに近い状態で始まった、あいコープの前身仙台共同購入会。石けんは牛乳・卵・野菜と並び、基幹商品の一つであり、組合員を増やし組織していく要であり、合成洗剤と粉石けんの違いを知らない人に、口紅落としだけでなく金魚を殺して見せる実験までしました。その結果、生協設立時(1979年)の石けん利用率は80%を超えていました。

組合員が増えるに連れ、石けん利用率は下がり続け、私が理事長を辞める頃(2012年)は20%もなかったでしょう。

被害者にも加害者にもならない、農薬が駄目なら、同様な成分を持つ合成洗剤も駄目、こんな簡単な事が何故通用しないのか、本当に不思議です。生協は安全食品店ではありません。



石けんの学習会で美演に集まる組合員(1992年)

シャボン玉フォーラム in みやぎ

あいコープが受け入れ団体となり この秋開催します！

2023年9月30日(土) 13:00~17:00

会場 仙台福祉プラザ(予定)

◆シャボン玉フォーラムとは？

次世代にきれいな水と豊かな自然を残すため、またせっけんの使い手を増やしていくために、志を同じくする全国の団体が集う「せっけん運動ネットワーク」。各地の参加団体が毎年持ち回りで企画し開催する全国集会が「シャボン玉フォーラム」です。



化学物質やマイクロプラスチックなど、海洋汚染問題は深刻です。私たちが何を選擇するかで変わってゆくこの地球の未来。

全国から石けん運動の仲間が集まります。講演会・展示・パネルディスカッションなどを通して、みんなで水環境を考えましょう。



◆基調講演 鍵井靖章氏(水中カメラマン)

『^{ほし}青い地球の 生命の物語』(仮)

かぎい やすあき 鍵井靖章氏プロフィール

1971年、兵庫県生まれ。水中写真家。1993年よりオーストラリア、伊豆、モルディブに拠点を移し、水中撮影に励む。1998年に帰国。フリーランスフォトグラファーとして独立。自然のリズムに寄り添い、生き物に出来るだけストレスを与えないような撮影スタイルを心がける。多彩な視点と色使いが人気で、大胆かつグラフィカルな水中写真で多くの人々を魅了する。一方 3.11以降は、震災を経験した海に生きる生命を定期的に記録している。主な写真集に、『unknown』(日経ナショナルジオグラフィック社刊)、『不思議の国の海』(PIE International)など多数。2013年、2015年 日経ナショナルジオグラフィック優秀賞受賞など受賞歴多数。TBS「情熱大陸」、TBS「クレイジージャーニー」などにも出演。

鍵井氏の写真展も開催！
ぜひ会場で、観て、聴いて、
感じて下さい！

学校では教えてくれない

原発事故の話をしてしよう

脱原発エネシフ委員会主催
「ごどもに原発事故を伝える会」

12 回目の3・11を控えた3月5日、日立システムズホールで「ごどもに原発事故を伝える会」が開催されました。今まで脱原発の活動は様々ありましたが、子ども向けの企画は初めてです。きっかけは「どうやら、学校では津波や防災の学習はするが、その中で原発事故について触れる機会はないようだ。」という脱原発委員からの一言でした。「原発の怖さを子どもに知らせないのは大人として無責任だ」との思いから開催を決めました。

「原発事故はどう起きて、その結果どうなったか」を大まかに説明した後、絵本の読み聞かせ。委員会で原発事故を題材にした絵本を何度も持ち寄り選本し、委員みなで心を込めて読み、伝えました。

また今回、ふるさとの浪江町津島地区を離れ避難生活を続けている三瓶



大人 25 名・子ども 10 名が参加した

子ども達の感想から

- 原発事故の知識がほとんどなかったの、このような話ができてよかった (中1)
- 津島に帰りたいのに帰れないなんて、今の日本はこんなにダメなんだと思った(中1)
- 人間が作ったもののせいで津島に帰れないなんて悲しい (小6)



理事 櫻井 洋子

春江さんにお越しいただき、お話を聞きしました。雨漏りで腐食し獣に荒らされたご自分の家の写真を見せながら、「先祖代々受け継いできた我が家を自分の代で取り壊すと決断しなければいけない。そんなことできますか？避難生活中で亡くなった義父は津島に帰りたいと最後まで言っていました。」と涙ながらに話す三瓶さん。当事者である三瓶さんのお話は心に迫るものがあり、参加した子ども達も真剣に聞き入っていました。

会場には事故後から被災地を撮り続けている写真家、飛田晋秀さんの写真や、原発事故を扱った絵本も展示し、耳から、目から、五感を通して事故の悲惨さを感じていただけただけではないかと思えます。

「水なきや生きてもいけないでしょー!」

貧困問題学習会

2月10日、NPO法人POSSIE(ポッセ)仙台支部代表の森進生さんを講師にお迎えし、貧困問題についての学習会を開催し、会場である仙台市中小企業活性化センターとオンライン合わせて26名が参加しました。森さんは、相談現場から見えてくる現代の労働・貧困問題の現状についてお話くださいました。20年前と比べると貧困が大きく拡大していること、そこには給料が下がり続けていることや、非正規雇用労働者の割合の増加、新型コロナウイルスの影響、ブラック企業、パワハラ、生活保護の実態等の様々な問題があり、生存権が守られていない日本社会の現状を思い知らされました。

その現状を変えるために現場での権利行使(たとえばストライキやデモ)をすることが重要で、それを認める支援が社会を変えることにつながると教えて頂きました。また、拡大する貧困に立ち向かう若者の取り組みとして、水なきや生きていけないでしょプロジェクトを立ち上げた二人の大学生からの報告を聞きました。水道等を止められ厳しい生活を余儀なくされている相談を受け、現状を変えていこうという取り組みです。この取り組みをきっかけに「ライフライン無償化プロジェクト」

ト」を立ち上げ活躍するお二人の力強い言葉に、自分たちの力でよりよい社会を築くという確固たる意志を感じました。

最後にあいこーぷみやぎから、昨年10月に行われたフードドライブ(組合員さんよりいただいた未使用の食品を必要としている人に届ける)の取り組み、ジョイケアからはコロナ禍で日頃より継続支援していました団体さんへ支援品をお届けしたことを紹介しました。

理事 三浦 一枝



POSSE 仙台支部代表 森 進生さん



プロジェクトの報告をする 東北大学の現役学生 國富さん(左)と笠原さん(右)

春の

組合員交流会

8地区で対面開催しました♪



魔法の言葉に大きな動きと笑顔プラス

しおさい地区「春よ来い 幸せ来い! 笑って幸せ ラフターヨガ」

地区委員誰もが初体験のラフターヨガ! 講師と一緒に「ツイている」「感謝します」等の言葉を上半身全体で表現。徐々に気持ちもほぐれ、隣の方ともアイコンタクトをとりながら、笑顔にのせて気持ちを表現しました。自由に会場を飛び跳ねながら声をかけあったりハイタッチをし、最後には身体全体がぼかぼかに。脱原委員さん作、鍋布団プリンを試食しながら温かい雰囲気での気持ちを分かち合いました。みんなと笑うことで春と幸せが来たような素敵な交流会でした。



鍋布団で作るプリンの実演も!

【参加者の声】 ●始めは恥ずかしい気がしていましたが、段々楽しくなり、心地よく本当に笑う事ができるようになりました。 ●初めてのラフターヨガ、びっくりしたけどものすごく前向きになれたし面白かった。

2月から3月にかけて、毎年恒例の“組合員交流会”が各地区で行われました。今年は全地区が「対面」で企画し、延べ66名の組合員が参加。体を動かしたり、おいしいものを食べながらあいこープについて語り合ったり…笑顔あふれる交流会となりました。一部をご紹介します♪

青葉 AB 地区「趙さんの味でおなじみ! 李さんに教わるキムチづくり」



ヤンニョムジャンの材料

【参加者の声】 ●李さんのキムチに込める愛と思いやりの深さに感動しました。 ●作り方の実演をみせていただき、ヤンニョムの挟み方などとても参考になりました。

「趙さんの味」より李香星さんをお招きし、ヤンニョムジャンから作る本格的なキムチ作りを行いました。キムチは他の漬物とは比べ物にならないくらい栄養一杯の食品。腸まで届く植物性の乳酸菌が豊富で、身体の調子を整える働きがとても大きいそうです。また、趙さんの味のキムチは材料もこだわりのものばかり。ほとんどが化学調味料で旨みを出している市販品に対し、贅沢に昆布やかつお節を使用した濃厚な旨味の出汁や、鎌田醤油のさけ醤油、日本人の口に合うマイルドな唐辛子を使うことで、あの美味しいキムチができるそうです。仕込みの後はまんま通信を見ながらおすすめ商品の話など、情報交換をしてとても楽しい交流会となりました。



塩漬けた白菜の葉にヤンニョムジャンを塗っていきま

太白地区「ランカスターさんに聞く 紅茶の楽しみ方」

(有)ランカスターの林徳久さんを講師に迎え、紅茶の産地や特色、美味しい紅茶の淹れ方も教えて頂きました。有名な“ダーズリン”は、北インド・ヒマラヤのダーズリン地方で栽培される紅茶で、爽やかな香りと清々しい苦みを楽しむストレートティーがお勧めだそうです。3種類のストレートティーとミルクティーを試飲しましたが、この日の一番人気はアッサムで作ったミルクティーでした。ランカスターの紅茶は出来る限り農薬に頼らない栽培方法で、香料は生協の厳しい基準をクリアした安全性の高いものを使用しているそうです。忙しい毎日に美味しい紅茶を淹れてほっと一息…そんな時間も大切にしたいですね。



沸騰したての熱湯を注ぎます

【参加者の声】 ●紅茶の飲み比べ、ミルクティーの淹れ方を実践出来て、家でも自信を持って試してみたいと思いました。 ●茶葉について今まで知らなかったことを色々知る事が出来て良かったです。今までコーヒーが多かったですが、これからは紅茶も楽しみます。



林さんによるミルクティーのレクチャー

ネットワーク21 全国の友好生協が一堂に会して定例会

2月17日~18日、全国で食の安全や環境保全に特に力を入れて取り組む生協の集まり「ネットワーク21」の定例会が愛知県岡崎市で行われ、理事5名が参加しました。あいこープからは、10年間取り組み、今年新たな一歩を踏み出す、天童果実同志会との「ネオニコチノイド系農薬不使用のりんご」の活動報告と、この秋開催される「シャボン玉フォーラム in みやぎ」の紹介をしました。会の終了後は、全国各地の生協の理事や職員が交流し、活動の方法や困りごと、成功例などを語り合う時間もあり、今後の活動のヒントを得ることもできました。

理事 鈴木 真奈美



ネオニコフリーりんごの取り組み報告

2月22日 あいこープ共生会総会

あいこープみやぎ、ふくしまの理念や運動に共鳴する生産者の組織である「あいこープ共生会」の総会が3年ぶりに対面で開催され、理事、職員が参加しました。昨今の物価高騰や食品表示、遺伝子組み換え表示の問題など、消費者以上にそれらの問題に直面している生産者の皆さんが、意見交換しながら来年度の活動に向けて一歩を踏み出しました。私たちあいこープの組合員、職員も、共生会と手を取り合ってしっかりと自分たちの活動、事業を行っていくのだという気持ちを新たにしました。何より、久しぶりに顔を合わせることができた喜びの顔が印象的でした。

理事 原子 良恵



対面での意見交換は久しぶり

おだいの
たねまき



「我が家になくなくてはならない」マヨネーズを目指して！ マヨネーズがリニューアルします



あいコープのプライベートブランド「あいシテル」のマヨネーズは、1995年のデビューから長きにわたり愛され続けてきました。非遺伝子組み換え、収穫後農薬不使用トウモロコシ主体の餌で育てられた鶏の『花たまご』と、非遺伝子組み換えの一番搾り菜種油を使用したシンプルなおマヨネーズは、市販品にはないさっぱりとした味で飽きの来ない美味しさです。

実はこれまで製造してくれていた工場が、事情により製造を継続できなくなり、PBマヨネーズの存続が危ぶまれていました。昨年、私たちの望む原料で製造を請け負ってくれる食品会社を探し、組合員、職員、生産者による再開発チームを結成。花たまごの生産者である花兄園や、あいコープ・ふくしまとも連携し、共同開発を行ってきました。

これまでのマヨネーズは「全卵」を使用していることが大きな特徴でした。市販の多くのマヨネーズは卵黄のみ使用していますが、かつて「私たちの大事な『花たまご』の卵白を捨ててしまうのはもったいない」という組合員の想いを反映し、卵黄も卵白もすべて使うことを決めたからです。しかし、全卵を使うことはマヨネーズの乳化和を妨げやすくなり、安定した商品を作る上で大きな課題でした。今回、開発チームで改めて基本に立ち返り、卵白が菓子製造などに使われ無駄にはならないことも花兄園に確認し、卵黄の割合を少し増やす（全卵使用することは変わりませ

んことを決定。これは組合員が安全で安定したマヨネーズを食べ続ける為の改良です。また、花たまごはもちろん、菜種油や酢も、素性の分る原料を使用することは変わらず、不要な添加物は一切入れないポリシーも曲げません。試作品は実に16種類に達し、試食を重ねようやく完成品にたどり着きました。2月中旬、製造元となる丸和油脂㈱の春日部工場を理事と職員が訪れ視察しました。協議を重ねたことであいコープの商品に対する想いや希望を理解した製造担当者に、管理された工場内を案内して頂き、新しい商品への期待が膨らみます。デビューは6月の予定です。お楽しみに！



丁寧包装



丸和油脂の工場内
卵と調味料を混ぜて
マヨネーズの素を作る



工場前で記念写真
末永くよろしくお祈りします！

新連載 第一回

天童りんごオーナー日記

果物の産地「天童果実同志会」と

取り組むネオニコチノイド系農薬不使用のりんごづくり。この春、組合員からオーナーを募り、年間通しての生産者と組合員の挑戦がスタートしました。天童に行くことのできる組合員もできない組合員も、同じ気持ちで生産者を応援し、ネオニコフリーの「トライりんご」を未来に繋いでいく取組みです。

2月、まだ雪の中の天童の園地では、オーナーになった組合員が世話をすする予定のりんごの木が力を蓄えていました。5月からこの園地で「私たちのトライりんご」を育てていきます。どんなりんごが実るのか？はたまた実らないのか？(ドキドキ喜びも不安も生産者と分かち合う、オーナーの日記をこの連載で毎月伝えていきます。

担当理事 鈴木 真奈美



栽培体験を予定するりんごの木の前で
(天童果実同志会・片桐完一さん)

理事会議事録抄

2023年3月7日(火)

▼2月以降の組合員活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について決定した▼2023年度議案書説明会及び総代会までの日程を確認した▼「秋保初！伝統野菜・仙台芭蕉菜のたねをつなごう」企画を承認した▼2023年度農産報告会企画を承認した▼「みんなであいごはん」企画を承認した▼インスタグラムにおける「あいコープみやぎファン」企画を承認した▼2023年度議案書における活動計画、活動方針、事業予算案について進捗を確認した。

組織概要

(2023年2月分)

【組合員数】	15,895名
【供給高】	240,288千円
【一人実利用高】	6,281/週
【出資金】	1,351,372千円

ちよっと
ひとこと

●女川の方が声高に原発反対とは言にくい雰囲気だとは知りませんでした。難しい問題ですが、こうやって知らない現実をきちんと事実として周りに広めて下さる事に感謝致します。(あいあいあい3月号読者アンケートより)

始めよう！緩めよう！ 石けん生活

『石けんモニター募集』に
56名が参加しました



石けん環境委員会では、台所用液体石けん「水はしよ」未利用の方を対象に、10月にモニター募集を行いました。20名の募集に対し56名の応募がありました。石けん利用を広めたいから応募いただいた方全員をモニターとしました。

11月末から配送で、小分けにした液体石けんを使い方のコツをお送りし、2週間程使用していただきました。使用後のアンケートによると、約86%の方が問題なく使えたと回答し、また約77%の方から今後も使い続けたいとの声がありました。具体的な感想としては、「泡持ちがよく、油污れも問題なく落とせた」「泡切れがよく、洗った後手が力かきしなかった」「洗う前に汚れを拭きとっておくのが面倒に感じたが、生活を見直すいい機会になった」といった声の他、「原料の香りが気に入った」「慣れずに食器を落とす声もなくなりました」などの声もありました。

石けん環境委員会では石けんを多く使おうと勧められているわけではなく、使うなら環境負荷

の少ない石けんの利用を、と勧めています。今回は食器洗いのコツを紹介することで、汚水を家庭からなるべく出さないことは水環境を守ることにつながることもお伝えできたのではないかと思います。

あいこーぷで取り扱っている石けんにも液体の他に、粉や固形など色々な種類があります。上手に石けんときき合えるよう今後も使い方について紹介し、「使うなら石けん」を広めていきたいです。

石けん環境委員会
理事 佐藤 あきな

食器洗いのコツ

- ①食器についた汚れをボロ布などで拭き取る。(排水に汚れを流さないこと、石けんの泡立ちに重要です)
- ②スポンジを濡らし、石けんを付けよく泡立てる
- ③洗った食器は重ねずに水のかからない場所においておく(汚れが再付着してしまいます)
- ④流水で流す。



私のオススメ商品



私のオススメ商品は「レンジコロッケボリュームパック」です。揚げたものを冷凍してあるので、電子レンジで手軽に調理できるのですが、衣がカリカリに仕上がり、まるで揚げたてのような食感が楽しめます。最近は米粉パンに挟んでコロッケパーティーにして食べるのがお気に入りです。皆様もぜひお試しください。

事業部 供給課 小西 智也

編集後記

3月号よりあいあいあい編集部に加わりました、理事の石井です。これからよろしくお願ひします。

今号を編集集中の3月、作家の大江健三郎さんが亡くなりました。「9条の会」呼びかけ人の一人としてはもとより、福島原発事故後は「さようなら原発1000万人アクション」呼びかけ人に名を連ねるなど、平和と脱原発を訴え続けてきた大江さん。今の世界、そして日本をどのように見ながらこの世を去られたでしょうか。合掌。

広報担当理事 石井 朱里

Present



アンケートプレゼント
機関紙あいあいあいにご意見感想をお寄せください。抽選で3名の方にあいシテル商品をプレゼント！右のQRからどうぞ。

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいこーぷみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2023年2月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	12件	利用延べ人数	3名
集団託児	3件	◆ケア時間	
慶弔・出産・お見舞いBOX	47件		27.5時間
電話相談窓口	17件	*Covid-19の為、活動を制限していました。	
計	79件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ ☎ 0120-50-7277 平日 9:00~15:00

- 年金相談..5/16(火) 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30
- 法律相談..5/16(水)、5/24(火) 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30
- 傾聴..5/16(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏
10:00~12:00
- 子ども相談..5/16(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00
- 介護相談 (ケアプランセンター木もれび 山崎彰子氏) は相談希望日をうかがいます。

▼随時受け付け可能です。▼各相談窓口前週の日曜日までにて予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



● マヨネーズを調味料やお菓子作りに使ったことがなかったので、とても参考になりました。今日作ったクラッカーも簡単でおいしかったです。(1/24 夏野菜マヨネーズお料理教室参加者アンケートより)



マルトク丹野商店
丹野 徳雄さん

オーダーされた分だけ作るってのは 生協としかできないやり方だね



紅鮭(甘塩)3切れ
※2切れ入りもあります。

作業場に響くラジオの音と、道具を洗い流す水音。この作業場でたった一人黙々と魚に向き合っているのは、丹野商店、丹野徳雄さんです。塩水に浸けられているのは、あいコープの魚プロ認証※も取得した人気の商品「紅鮭(甘塩)」になる紅鮭。

丹野商店の塩鮭(甘塩)は、材料の紅鮭を10%の塩水に4時間ほど浸ける製法。一般的には3%塩水に一昼夜浸けるものが多いそうです。塩水の濃度もかなり違いますね。丹野さんによると、浸ける時間が長い程、魚が水分を吸ってしまい水っぽくなるとのこと。この濃度と時間が美味しさを左右します。生臭さを取る

ために、鱗やぬめりを丁寧に取り、開いた腹の内側の薄皮まで取る徹底ぶり。「マイルドなしよっぱさ」を目指し、試行錯誤しながら現在の商品にたどり着きました。そして何より、注文された分をその都度作り、短時間で冷凍まで行うことがポリシー。「このオーダーされたら作るってやり方は、生協としかできないんだよ、だから美味しいんだよ」と力説!!

石巻市渡波にある丹野さんの工場は、良い地下水に恵まれています。海水と沢水がちょうどよく混ざり合い、魚を加工するのにとても都合がいいそうです。「だからこの土地から動けない」と言う丹野さんは、2011年の東日本大震災で被災した生産者の一人。マイナスからの再スタートを切り、無我夢中で続けてきたところに、海の資源の問題、コ



ロナ、そして戦争と次々と難題が立ちはだかり「震災後やらねばなしたよ」と苦笑されていました。「環境の変化で魚が捕れなくなっているのは事実。いつまでこの仕事が成り立つのかな?と思う」と、不安を漏らします。「ゲノム編集で魚を太らせるなんてあるけど、体に悪いとか味がどうかという前に『気持ち悪い』よね?今大切なのは、今あるものを大切に食べるってことだね」と、海の資源への想いを口にし、次の世代の人たちのために豊かな海を取り戻す活動をしたいという夢も話してくれた丹野さんでした。



手切りの包丁技がスゴイ!
一発勝負で70g×3切れをスパッ!

※魚プロ認証…組合員が、産地・品質・美味しさを基準に組合員が選んだお墨付き商品の印。

当店では、主に塩紅鮭の切身や、銀たらみりん漬け等の水産加工品を組合員の皆様にご利用いただいております。あいコープみやぎの前身「仙台共同購入会」時代から、永きにわたってお世話になってきました。昭和32年に父親が起こした当店は、2代目の私で創業68年を迎えます。200カイリ規制による水産漁獲物の減少や、地球規模の温暖化による海況変化によって、水揚げされる魚貝類は激減し、その取引価格も高騰の一途を辿っています。国民になじみのある安い魚は姿を消し、魚が高級品と言える値段になっています。12年前の東日本大震災、長引くコロナ禍、そしてロシアによる侵略戦争なども、私たちの生活に重くのしかかるばかりです。

魚を触ったこともない私が水産加工の仕事をはじめた頃は、失敗の連続でしたが、仙台共同購入会との取引も始まり、まずは苦境から乗り出せたという記憶があります。その当時の状況と現在の苦しさはまた次元の違うものがありますが、越えなくてはならない試練だと思っています。いままで守ってきた無添加・無着色を理念に、市販品とは違う商品を、これからも組合員の皆様に提供したいと考えております。

5/19

2023年度
委員オリエンテーション

場所/エルパーク仙台 セミナーホール
時間/10:15~11:45
参加費/無料 ※詳しくは後日配布のチラシで!

5/31~6/9

2023年度
議案書説明会

場所/全8回開催
時間/10:00~12:00 (午後開催の地区もあり)
参加費/無料
※詳しくはあいあいあい5月号でご案内します

トルコ・シリア地震 緊急支援募金

震災による被害を受けた
トルコ・シリアへ支援金を募ります。
申込は注文書に記入(入力)ください。

000842 1口 300円

000843 1口1000円

222842 1口 300ポイント

222843 1口1000ポイント

受付期間は4月2回注文書~5月2回
注文書です。

4月はあいシテル月間

安全で美味しいものが食べたいという
組合員の願いで生み出された あいシテル商品
まんま通信で詳しく紹介しています。
もっともっと「あいシテル」を知って、利用しよう!



女川原発が止まってから

4407日目
(2023年4月3日現在)